

第 1 1 回川崎市文化芸術振興会議部会会議録（摘録）

- 1 会議名 川崎市文化芸術振興会議部会
- 2 日 時 平成 2 3 年 1 月 2 7 日（木）
午前 1 0 時から午前 1 1 時 4 5 分まで
- 3 場 所 ミューザ川崎シンフォニーホール 会議室 1
- 4 出席者
 - (1) 委 員 澤井委員（部会長）、垣内委員、林委員
欠席委員 前田委員
 - (2) 事務局 市民・こども局市民文化室
野本室長、村石担当課長、服部課長補佐、植村職員
- 5 議 題
 - (1) 平成 2 3 年度文化アセスメント対象事業の選定方法について
 - (2) 平成 2 2 年度文化アセスメント評価作成の進め方について
 - (3) その他
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴者 0 名

【審議内容】

- 事務局 会議は、川崎市文化芸術振興会議規則（以下「振興会議規則」という。）第 6 条第 5 項の規定に基づき、同第 4 条第 2 項の規定を準用し、過半数の委員の出席により成立している。資料は、事前に議題資料 1、2 及び参考資料 1 から 5 を送付したが、追加・修正があった資料と併せて一式あらためて配布した。振興会議規則第 6 条第 5 項の規定に基づき、同第 4 条第 1 項の規定を準用し、澤井部会長が議長とし、議事進行をお願いしたい。
- 議 長 それでは、第 1 1 回川崎市文化芸術振興会議部会（以下「振興会議部会」という。）を開催する。平成 2 3 年は川崎市の文化芸術にとってビックイヤーになるので、それを踏まえて文化アセスメントを行いたい。議題に入る前に事務局から連絡があるので、お願いしたい。
- 事務局 振興会議の前田委員から辞任の届出があったので、報告する。
- 議 長 では、議題 1 の平成 2 3 年度文化アセスメント対象事業の選定方法について、説明をお願いしたい。
- 事務局 議題資料 1 に基づき説明する。文化アセスメントのマニュアルにおける抽出の条件として、テーマ設定による抽出と文化芸術振興計画（以下「振興計画」とい

う。)上の7つの施策分野による抽出という2つの考え方がある。選定条件としては、市の文化芸術を振興する上で重要な事業などの7つの条件がある。また、抽出選定にあたっては、平成23年度が3年目となるので、文化アセスメントの意義を定着させ、継続性を図っていくための考え方を整理する必要がある。事業の絞込みにあたっては、市の総合計画の実行計画が新しく策定されるため、それに合わせて振興計画上の事業についても見直しを行う。新しい事業体系の中から文化アセスメントの対象事業を選定する。過去2回の選定時の考え方を踏まえ、平成23年度の選定の考え方について審議をお願いしたい。

議長 平成21、22年度は、7つの施策分野のうち「1文化振興」に該当する事業から選んだ。1年目は市が直接的に実施する事業を選定し、2年目は実行委員会等が主催する事業に拡大した。今回は従来と違う形のテーマ設定もしくは「1文化振興」以外の分野を選定してもよい。事務局で具体的に考えはあるか。

事務局 文化を活用する事業として、例えば観光にも力を入れているので、その中での文化の役割も見ていただきたい分野である。

議長 従来は芸術分野、文化分野の強い事業が選定されているが、経済やまちづくりなど、他分野への波及効果をテーマに事業を選定してもよい。

林委員 従来も波及効果も含めて多角的に評価してきたが、それを主軸にして評価対象事業を選定したわけではなかった。

垣内委員 文化アセスメントの評価結果がどのようにフィードバックされて事業に活かされたかを聞いた上で、文化芸術のビッグイヤーに向けて、川崎市の文化政策に役に立つサポートが出来れば良い。事務局として、どのような分野でアセスメントが必要か、などの考えがあれば聞きたい。

事務局 平成21年度文化アセスメントの実施結果について、予算上の反映は平成23年度になるが、事業の企画内容や実施方法で改善できるものは平成22年度から対応している。条例上、報告の規定はないが、次回の全体会議において事務局から報告したいと考えている。例えば、坂本九の顕彰は今年度、川崎市アートセンターを会場として、映画「上を向いて歩こう」の上映や写真展、ポスター展示、関係者トークなどを実施し、満席になった。次回会議では参加者数などのデータや平成23年度予算について報告したい。

澤井委員 個別の事業については、その執行の中で結果を反映して活かしてもらいたいが、平成21年度実施結果報告書において、振興計画上の事業の束ね方について再検討を提案したので、振興計画の見直しの際には反映してほしい。平成23年度は、映画大学の開校があるので映画が1つのテーマになると思うが、すでに平成22年度に映画関係事業を選定している。生誕70年を迎える坂本九氏についても平成21年度に実施している。振興会議で選定していないものとして、生誕100年を迎える岡本太郎氏が挙げられる。

林委員 川崎市岡本太郎美術館の運営主体は川崎市か。

事務局 川崎市が直営している。岡本太郎記念現代芸術賞(TARO賞)は財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団が中心になって実施しているが、通常の常設展・企画展などは市の事業として行っている。年間約7万人の入場者数があり、生誕100年の今年は10万人程度を目標としていきたい。

- 林委員 付近には色々な施設がある。
- 事務局 日本民家園がある。青少年科学館は来年度改築整備中だが、9月には藤子・F・不二雄ミュージアムの開館を予定している。
- 林委員 非常に注目度は高い。市としても観光事業に力を入れていく方針か。
- 事務局 羽田の国際化が進んだため、外国からの観光客に市北部にも来てもらいたい。
- 澤井委員 振興計画の「5文化と観光」には14事業あるが、文化芸術との関連が薄いように思われる。
- 垣内委員 先日、英字新聞で川崎の工場見学について高く評価されていた。
- 林委員 モントルー・ジャズ・フェスティバルが川崎で開催されるとのことだが、スイスではなく川崎に来る方が近いという人は多いのではないか。
- 澤井委員 単発ではなく、継続的にやってくれれば良いが。
- 事務局 市の事業ではないので、振興計画上には掲載されない。実行委員会の方針としては継続的にやって行きたいとのことである。コンサートツアーだけでなく、学生に向けたワークショップなど、人材育成の仕組みと平行してやりたいと考えられているようだ。11月に開催され、会場はミューザ川崎シンフォニーホール、昭和音楽大学、洗足学園音楽大学を予定している。具体的な計画内容は未定。
- 澤井委員 振興計画上の事業でなければ、文化アセスメントの対象とはならない。
- 林委員 「7文化と環境・景観」も、観光につながる部分がある。
- 澤井委員 川崎市は環境アセスメントがあるので、都市イメージとは合う。「多摩川エコミュージアムプラン推進事業」などは観光の面もあるのでは。
- 事務局 「多摩川博」など、年間に数回のイベントを開催している。多摩川に関する施設の管理運営費も含まれている。
- 垣内委員 京都を訪れる観光客は年間5000万人と言われている。観光のインパクトはボリュームがないといけない。川崎には企業が多いが、ビジネス旅行者を除いても観光客は多いのか。
- 事務局 観光客数で飛びぬけて多いのは川崎大師で、1月に集中している。工場夜景は近年写真家の方にも人気が出ている。また、東扇島東公園は広域防災拠点として整備され、大きな敷地が取れるので、ロックフェスティバルが開かれているほか、今夏には人気アイドルグループがコンサートを行うとの報道もされている。これらの点で臨海部が注目されている。
- 議長 平成23年度は様々なイベントがあるビッグイヤーであり、その時間的特性に関連した事業を1つ選定する。そのテーマ設定としては、岡本太郎美術館関係の事業が候補としてある。また、文化アセスメントの3年目であり、純粋な文化芸術分野から他の活動分野へ広げるといったテーマ設定で考え、「5文化と観光」や、観光に関連する意味で「7文化と環境・景観」から1事業を選定することが考えられる。具体的には、工場見学などの産業観光の関係や、環境分野の多摩川エコミュージアムプラン振興事業などが候補として考えられる。あくまでも文化アセスメントの基軸は文化芸術活動の視点にあるべき。文化をテーマにして、観光への発展性や波及効果が考えられるものを選定できるとよい。
- 事務局 岡本太郎美術館については、博物館施設等の1つとして平成21年度まで教育委員会が所管しており、振興計画上、「3文化と教育・青少年」に位置づけられてい

る。今年度から市民・こども局に移管され、振興計画上も独立の事業として位置づけられる予定。施策分野については検討する。

垣内委員　まだ3回目であり、もう少し文化振興の分野の事業から選定しても良いのでは。波及効果はただ見に行っただけで計測できるものではない。様々なデータの数字を扱い始めると、その意味やサンプリングなど、テクニカルな議論になってしまう。

議　長　文化アセスメントの評価システムや能力からいって、厳密な経済効果の測定は不可能。振興会議のメンバー各々の感性で議論し、定性的な判断を出すしかない。基本的な視点として、文化やアート活動が必ず読み取れるような事業を選定したい。「6文化と経済」のガラス工芸振興事業や川崎マイスター事業は、関連性が強いのでは。

事務局　所管局としても、文化アセスメントの結果を今後の事業のあり方の指針としたところなので、これまでに挙げた観光、環境、経済関係の所管局と相談し、候補事業の概要資料を次回会議で提出したい。

議　長　事務局で、文化振興以外の分野から1つ、2つ候補を出してもらいたい。では、議題2について事務局から説明をお願いしたい。

事務局　平成22年度文化アセスメントの評価作成の進め方について、議題資料2に10月の全体会議で行った実施グループ分けの結果を記載した。しかし、「地域文化のまちづくり推進事業」担当で実地調査に参加できなかった委員がいたため、グループ編成の変更を行うか検討している。該当委員は「アートのまちづくり事業」の実地調査には参加している。また、「アートのまちづくり事業」担当の委員は全員「KAWASAKI しんゆり映画祭」の実地調査にも参加している。

林委員　実地調査をしていない事業について評価はできない。

議　長　1名ずつグループを入れ替わるのが望ましい。

事務局　関係委員と調整し、変更を行う。今後、調査・評価シートの振興会議による評価の部分を作成していく。スケジュールとして、3月中に、平成23年度の文化アセスメント対象事業を選定する全体会議と、平成22年度文化アセスメントの実施グループ打合せを開催したいと考えている。平成22年度の評価にあたっては、初回の経験を踏まえ、マニュアル評価項目に沿った評価を進め、実施グループでの協議も2回は行いたい。また、4月に平成23年度の対象となった事業についての概要説明のため全体会議を開催したい。6月以降、2事業の評価を合わせて実施結果報告書の形を整え、8月の市長報告・公表に向けて進めていきたい。

議　長　4月の全体会議は、対象事業の概要だけであれば資料を送付してもらうだけでよいのではないか。また、3月中に全委員が2回集まることも日程的に難しい。対象事業の選定を優先するならば、実施グループ打合せを4月にしてはどうか。

事務局　対象事業について、実地調査の前に担当課から説明する機会を設けるために4月の全体会議を設定したが、その次の全体会議の際に行う方向で検討する。実施グループ打合せは4月としてあらためて日程調整を行う。

垣内委員　実施グループ打合せの前には、各委員が記載した評価を全員で共有出来るのか。

事務局　事前に行行政側が記載した調査・評価シートを委員に送付し、評価を記載していただき、事務局あてに提出いただくことを考えている。

- 議 長 各委員が記載したものを基に事務局でたたき台を作ってもらい、グループ長が加筆、修正すると、精度も効率も上がる。
- 垣内委員 資料3に関して、「KAWASAKI しんゆり映画祭」の実地調査に行った際、空席が多く驚いた。会場の収容人数と参加者数の詳細が知りたい。
- 事務局 確認し、次回提示する。
- 垣内委員 チケットを売り切ることや広報が上手くいかなかったのでは。
- 林委員 「川崎・しんゆり芸術祭」で狂言を観たが、狂言にしては広すぎる会場で、観客も多くはなかった。
- 事務局 定員約 1000 人の会場を、前方の 600 席に限定していた。
- 林委員 前方が満席というわけでもなく、座席指定でチケットを購入できたのか。内容は良かったが、場所との整合性の問題がある。
- 澤井委員 映画祭でバリアフリー上映作品を観たが、観客は多かった。音声ガイドを試したところ、よかった。近くにいた視覚障害者の方に尋ねたところ、映画の内容が良く分かると言っていた。映画全体の説明台本を作って吹き込むほか、操作するための付き添いの人がいるなど、とても手間はかかっている。
- 林委員 ワーナー・マイカル・シネマズでは映画祭の実施は一部のみであり、他のスクリーンでは通常上映を行っていたため、映画祭を開催しているとわからなかった。例え一日だけでも全体を使ってやったほうが良い。
- 垣内委員 全体として、街をあげてのフェスティバルという感じがしない。駅にはバナーもなく、アートセンターの近くに行ったらポスターがあったぐらい。
- 事務局 新百合ヶ丘が景観形成地区になっているため広告物規制があり、幕などを建物の外に出すことができない。
- 垣内委員 景観行政も市が行っているのでは。フェスティバルのバナーなどは不快なものでもないし、イベントの期間中だけでも掲出できたらよい。
- 事務局 現在は市民・こども局のイベントにとどまっており、他局を巻き込んで全体で、というところまでいっていない。
- 林委員 観光的な意識も入れて、徹底してやるべき。小さな事業がたくさんあるが、集中して投資するなど特化し、ビジビリティを高めるのも大事。
- 議 長 改善意見として評価書に書いてもらいたい。その他として事務局から連絡があるか。
- 事務局 振興計画の事業立ての見直しについては、3月の全体会議でおおよそ確定したものを示せる予定である。
- 議 長 3月の全体会議で報告をお願いします。では、これをもって第11回振興会議部会を閉会する。

(会議終了)